

書店と図書館がつなぐ 未来の読者 **in 都城市**

2026年 **2月8日(日)** 14:00~16:00

都城市立図書館
(宮崎県都城市中町 16-15)

**申込
方法**

右の二次元コード、もしくはJPICホームページ
(jplic.or.jp)よりお申し込みください。
お申し込みは**先着順(70名)**となります。
定員をオーバーした場合はお申し込みできません。



講演 内容

児童文学作家：くすのき しげのり先生 講演会

今、深刻な読書離れが進んでいます。そのような状況を地域から変えていくため都城市では地域の書店と図書館が連携して、読者を増やす取り組みを開始しました。その活動の記念講演として、「一人ひとりがみんなたいせつ～本を読むこと考えること～」をテーマに児童文学作家くすのき しげのり先生にお話をして頂きます。

プロ
フィール



【講師】くすのき しげのり

児童文学作家。徳島県鳴門市在住。1986年より徳島県公立学校(小学校)教諭として教壇に立つ。その間に、鳴門市教育委員会事務局指導主事・鳴門市立図書館副館長として出向し、民間との協働運営をはじめ、全国に先駆け公立図書館における数々の改革や読書活動の推進に携わる。絵本『おこだでませんように』『メガネをかけたら』(ともに小学館)が、青少年読書感想文全国コンクール課題図書となる。『メロディ』『えとこ』『ともだちやもん、ほくら』等、小学校(2024年度改訂)・中学校(2025年度改訂)の教科書において、小学校1年生～中学校3年生の全学年の教科書に作品が採用・掲載される。また、『あなたの一日が世界を変える』(PHP研究所)『Life』(瑞雲舎)『わたしがはやくねるわけはね』(小学館)等200作品を超える著作は海外でも広く読まれている。